

投 稿 規 定

日本救命医療学会雑誌(Journal of Japan Society for Critical Care Medicine, 以下本誌と略す)は、日本救命医療学会の機関誌であり、救命医療の進歩に寄与することを目的とするものである。

本誌の掲載論文は、投稿または依頼によるものとし、総説、原著、臨床研究、症例報告、その他(臨床経験等)とする。

投稿論文の採択は編集委員会の審査(査読制)によって決定し、著者に通知する。

1. 投稿内容

投稿論文は上記の趣旨をふまえた創意に富んだ論文で、他誌に発表されていないものとする。

同一の論文を他誌に投稿中の場合には採用しない。論文の一部を他誌に発表している場合には、それを引用していることを明記し、投稿時にそのコピーをアップロードする。

また、一定の要件(参照:secondary publicationのための要件)を満たしており、編集委員長がそのことを認めた場合、その投稿論文をsecondary publicationとして査読の対象とする。

日本語もしくは英語での投稿を受け付ける。英語で投稿の場合、あらかじめネイティブスピーカーの校正を受け英文校正証明書(書式自由)をアップロードする。

また英文抄録とともに和文抄録を付すこと。

2. 著者およびCorresponding authorの資格

- 1) 筆頭著者または共同著者のうち1名は本学会会員であること。
- 2) Corresponding author(著者の一人で論文の代表責任者)を論文に明記すること。

Corresponding authorは、論文の審査や出版に関する編集委員会からの連絡に対応する責任を有し、出版後も論文に対する問い合わせ窓口となる。また、筆頭著者以外の著者でもCorresponding authorになる資格を有す。

3. 論文の構成

- 1) タイトルページ、2) 和文抄録(英文投稿では

英文抄録 + 和文抄録)、3) 本文、4) 引用文献、5) 図・写真の説明文、6) 図・写真、7) 表、の順に記載する。

4. 論文の長さ

- 1) 投稿原稿は、総説、原著、臨床研究は論文本体全て含めて16,000字以内、引用文献の数制限は、総説は制限なし、原著、臨床研究は原則30例、症例報告、その他(臨床経験等)は9,600字以内、引用文献の数制限は原則20例とする。
- 2) 和文抄録は総説、原著、臨床研究で800字(英文400 words)以内、症例報告、その他(臨床経験等)で400字(英文200 words)以内とする。査読の過程で必要であれば増やすことを可とする。
- 3) 図・写真・表1枚は、それぞれ400字相当とし、原稿に含める。

5. 論文の記載方法

【A】記載方法の原則

- 1) 本文ファイルはMicrosoft Wordを用いて、原則として和文で記述する。
- 2) 横書きでA4判の用紙に印字する。英文はdouble spaceで印字する。
- 3) 用語は現代かな使いにしたがい、医学用語を除き常用漢字とする。
- 4) 外国人名、地名は原語を用いる。
- 5) 薬品名は一般名で記載し、商品名を記載するときは括弧内に記す。
- 6) 特殊な試薬、機器などは必要に応じ、種類、会社名と、外国の場合はその所在地(国名)を括弧内に記載する。
- 7) 度量衡はCGS単位とする。
- 8) 論文にしばしばくりかえされる語は略語を用いて差し支えないが、初出のときは完全な用語を用い、以下に略語を使用することを明記する。
- 9) 著者校正は初校のみとする。校正時の追加、削除は原則として認めない。

【B】表紙（タイトルページ）

1) 論文の種類

総説, 原著, 臨床研究, 症例報告, その他(臨床経験等)の区分を記載する.

2) 表題

表題は簡潔でかつ必要な情報を盛り込むこと.

略語は使用しない. 実験的研究の表題には実験的研究と判るように, 使用した種またはモデルを明記する.

3) 所属

4) 著者名(著者の数は7名以内とする)

5) 英文表題

6) 英文所属名

7) 英文著者名(First FAMILY)

8) Key Words(5語以内)

●物質名, 外国の固有名詞は原語で表記するとともに, 慣用されているものはカタカナでも併記する.

●英文で投稿した場合にはKey Wordsも英単語とする.

9) Corresponding author連絡先

郵便番号, 所在地, 所属機関, 部署名(もしくは自宅連絡先), 電話, FAX, E-mail address

【C】論文本体

原著・臨床研究の記載は, 原則として和文抄録, はじめに, 方法(対象と検討方法), 結果, 考察, おわりに(または, 結語), (謝辞), 引用文献の順で記載する.

症例報告の記載は, 原則として和文抄録, はじめに, 症例, 考察, おわりに(または, 結語), 引用文献の順で記載する.

別に記した【記載上の注意】を読んでこれに準拠する.

【D】引用文献

1) 本文に肩付けした引用番号で示し, 引用順に番を付け記載する.

2) 誌名略記について, 日本文献は医学中央雑誌略名表に, 外国文献はIndex Medicusに従う.

3) 著者, 編集が3名以上の際には3名まで列記し, それ以上は, 他, またはet al.とする.

(1) 雑誌の場合, 著者名:題名. 雑誌名, 年;卷: 始頁-終頁の順に記す.

例1) Ehrnthal C, Amara U, Weckbach S, et al. : Alteration of complement hemolytic activity in different trauma and sepsis models. *J Inflamm Res*, 2012; 5: 59-66.

例2) 小野寺ちあき, 小鹿雅博, 高橋学, 他 : 敗血症ショック患者に対する抗tumor necrosis factor モノクローナル抗体(TNF Mab)投与が効果的であった一症例. *日救命医療会誌*, 2011; 25: 43-48.

(2) 書籍(単行本)の場合, 著者名:題名. 書籍名, 卷, 版, (編集者名, 編), 発行所, 発行地, 年;始頁-終頁の順に記す. 発行地は1ヶ所のみとする.

例) 日本呼吸器学会ARDSガイドライン作成委員会:

ALI/ARDS診療のためのガイドライン, 第2版. 学研メディカル秀潤社, 東京, 2010; pp18-21.

(3) 電子媒体(インターネット)の場合, (著者:) 題名. Webアドレス, アクセス日, 年の順に記す.

例) 平成30年(2018)人口動態統計月報年計(概数)の概況. 厚生労働省ホームページ:

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai18/index.html>, Accessed September 27, 2019.

4) 電子媒体(インターネット)によるものは, 引用内容の科学性や倫理性を加味して変更を求める場合がある.

5) 学会・研究会等の抄録は文献としては認めない.

【E】図・写真の説明文

1) 図・写真の説明文は, 図・写真とは別にA4用紙にまとめて記載する.

2) 説明文では図・写真番号, タイトル, データの表示方法, 図中の略語, 記号について記載する.

【F】図・写真

1) 図・写真はMicrosoft Excel/Power Point等で作成する.

2) 組織像には, 染色法と倍率を明記する.

【G】表

脚注には, 表番号, タイトル, データの表示方法, 略号, 有意差の記号の解説, 等を記す.

6. 倫理規定

1) ヒトを対象とした研究にあたっては, インフォームドコンセントおよび所属施設の倫理委員会などそれに準ずる機関の承諾を得ていること. また個人情報保護のため, 匿名化し, 個人が特

定されるような記載は避ける。十分な匿名化が困難な場合には、同意を文書で得ておくこと。

2) 症例報告の場合、患者またはその家族あるいはそれに準ずる保護者より論文の出版に関する同意を得ていること。

7. 利益相反

臨床研究(医薬品、医薬部外品、健康食品、医療機器等)に関する論文は、利益相反関係(例:研究費・特許取得を含む企業との財政的関係・当該株式の保有等)の有無を本文末尾に明記しなければならない。利益相反がある場合には、関係する企業・団体名を明記する。

注)利益相反に関する記載例

- ・本研究は○○○○の資金提供を受けた。
- ・○○○の検討にあたっては△△△△から測定装置の提供を受けた。
- ・利益相反はない。

8. 投稿の方法

日本救命医療学会ホームページ(<http://jccm.umin.jp/>)よりオンライン投稿受付画面に進みシステムのフォームにしたがって投稿する。

9. 著作権

- 1) 掲載後の全ての資料の著作権は日本救命医療学会に帰属するものとする。
- 2) 掲載論文については、J-STAGE が提供する電子ジャーナル公開システムを用いてWEB上で公開する。

10. その他

別冊は希望により、実費にて作成する。

【参照】secondary publicationのための要件

- 1) secondary publicationとは日本語以外の言語で出版されたprimary versionのデータ・解釈に関し、それを忠実に反映して日本文で書かれたものである。
- 2) primary versionの編集者からsecondary publicationの同意が得られている。
- 3) secondary versionの論文のタイトルページの脚注に、primary versionの論文を参考にしたことを明

確に記載する。

- 4) primary versionのコピーあるいは別冊を付けて投稿する。
- 5) 出版の優先権はprimary versionにあり、少なくとも1週間の間隔をあけて出版する。

(令和5年10月10日改訂)

編集委員長：庄古 知久

編集委員: 安部 隆三, 上田 敬博, 喜多村 泰輔
塩見直人, 鈴木 泰, 中田 孝明
服部 友紀, 福島 英賢, 本間 康一郎
松山 重成, 森澤 健一郎 (50音順)

連絡先:

日本救命医療学会編集事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号
新宿ラムダックスビル
株式会社 出版事業部内
TEL 03-6273-8202 FAX 03-5291-2177
E-mail:jccm-edit@shunkosha.com

【記載上の注意】（参考にして下さい。）

[A]和文抄録(800字以内)

1. 抄録には研究の目的、対象・材料および方法、重要な新しい知見(可能なら実際のデータ)、主な結論を明確に記述する。
2. 略語および参考文献を記載しない。

[B]はじめに

1. 研究背景、研究目的を記載する。
2. 実際の研究データあるいは結論を記載しない。

[C]方法(対象・材料および方法、統計処理を含む)

1. 必要に応じ適切な小見出し(対象、材料、方法、統計、など)を用いる。
2. 研究の対象(材料)および方法を明確に記載する。
3. 倫理に関しては以下のように報告する。
 - 動物実験では準拠した動物の取り扱いに関するガイドラインを記載する。
 - 臨床研究では、侵襲の加わる場合は患者の同意などについて記載する。
4. 統計解析の項では、結果の表示方法(平均値、標準誤差、標準偏差、など)使用した統計学的手法、信頼限界を記載する。

[D]結果

1. 本文中では重要な知見を強調し、主要な結果を要約する。過剰なデータを記載しない。
2. 結果は、本文中、表中、図中に重複して表示されていないか留意すること。
3. 学会スライドに用いた図をそのまま流用しないこと。スライドは表示時間も短く、繰り返しての表示は出来ない。限られた時間内で如何に演者の主張を理解してもらうかに重点を置いて印象的な図を作成すべきである。一方、論文中の図は正確さに重点を置いて記載すべきで、スライドの図を流用すべきではない。特にカラースライドから白黒の図にした場合には、グレーの濃淡の区別などに留意すべきである。
4. 数値で記載する場合には、有効数字の意義について検討した上で記載すること。

[E]考察

1. 緒言、方法、結果で述べたことをくり返さずに簡潔に記載する。
2. 研究の重要な知見を強調し、その知見の意味することについて論じる。

(令和2年11月19日改訂)